

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

1 五類定点疾患週報情報

令和5年第33週(令和5年8月14日～8月20日)[速報]

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	79	0.71	0.03	→	11	ヘルパンギーナ	44	0.63	0.41	↘
2	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)※3	1,601	14.29		↗	12	流行性耳下腺炎	3	0.04	0.07	
3	RSウイルス感染症	44	0.63	1.35	↘	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.04	
4	咽頭結膜熱	27	0.39	0.21	→	14	流行性角結膜炎	5	0.26	0.47	
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	0.97	0.44	↘	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.03	
6	感染性胃腸炎	185	2.64	2.13	→	16	無菌性髄膜炎	2	0.10	0.04	
7	水痘	5	0.07	0.09		17	マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.01	
8	手足口病	83	1.19	0.78	↗	18	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	0	0.00	0.04		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.01	
10	突発性発しん	8	0.11	0.25		※1・過去5年間の同時期平均(定点当たり)、※2・鳥インフルエンザを除く、※3・2023/5/8～5類になりました、※4・オウム病を除く					

発生記号(前週と比較)

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1, 2	1～12	13, 14	15～19
定点数	42	70	19	21

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ~ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ~ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

● ヘルパンギーナ警報を令和5年7月13日に発令していましたが、定点当たり報告患者数が県内すべての保健所管内で警継続基準値(定点当たり2)を下回り、ヘルパンギーナの流行は終息に向かっていると考えられるため、令和5年8月24日に警報を解除しました。

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況(定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
ヘルパンギーナ	6	2	—	警報解除 (R5.7.13発令分)	1.11	0.83	0.67	0.00	0.46	0.00	1.09

注)原則として、警報・注意報は県内いずれかの保健所管内で開始基準以上となった場合に発令し、すべての管内で継続基準未満となった場合に解除します。

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

●急増疾患 なし
●急減疾患 なし

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11	1		5		3		2
三類	0	発生なし	0							
四類	3	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1							1
		日本紅斑熱	2			1				1
五類	10	ウイルス性肝炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2				1	1		
		梅毒	7	1		1		5		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>